

無料オンラインセミナーのご案内

これからの時代、建設業をはじめとする現場では、労働生産性と労働安全衛生両面のレベルアップを図るためには、DX推進によるICTの最新技術の積極的な活用と併せて、現場で働く人々のレジリエンス能力の向上が必須になっています。

このような現状を踏まえ、仮設工業会では、「仮設工事におけるDX時代のレジリエンス能力向上対策に関する検討委員会」を立ち上げ、ヒヤリハットから災害回避能力を探るとともに、仕事でうまくいったことを合わせて把握し、それを安全衛生教育に活用する「新ヒヤリ・グッジョブ報告」の社会実装を進めています。

具体的には、先の報告から得た情報をメタバース上で8D BIMを利用して再現し、アバターを使って追体験を繰り返すことによって、「災害を回避できた人」などの経験を自身のものとして経験し、ノンテクニカルスキルを高め、レジリエンスを向上させる仕組みです。

(※例えば、枠組み足場上で作業中、妻側手すりの片方のクランプが外れていたため、手すりと一緒に墜落しそうになったという場面を体験することが可能になります)

本セミナーでは、建設業にとどまらず製造業等においても「新ヒヤリ・グッジョブ報告」を現場展開するにあたって必要な知識、実施方法等と、メタバースを活用したレジリエンス能力向上の取組みとその展望について解説します。

○開催日時: 2024年11月14日(木)14:00~16:00

○セミナー概要

安全衛生教育の新技术「新ヒヤリ・グッジョブ報告」とメタバース活用

(オンライン・受講料無料)

I 安全と生産性向上に役立つ！DX時代のレジリエンス能力向上対策

- ・データで読み解く仮設工事を含む建設業の課題
- ・「安全」と「生産性」の捉え方の変遷
- ・「新ヒヤリ・グッジョブ報告」と8D BIMとメタバースの位置付け

II 「新ヒヤリ・グッジョブ報告」の活用方法

- ・「新ヒヤリ・グッジョブ報告」現場試行実施
- ・「新ヒヤリ・グッジョブ報告」アプリ化のイメージ

III 積木製作×SUGIKO 共同開発のメタバースを用いたレジリエンス能力向上教育

- ・従来教育／VRとメタバースの違い
- ・メタバース足場組立教育の紹介
- ・メタバースを活用したレジリエンス能力向上教育の進め方

IV・まとめ—今後の安全衛生の方向性

- ・質疑応答

○会場: オンラインセミナーです。会場での受講はできません。

○参加費用: 無料 (お申し込み期限は、11月12日(月)16時です。)

○お申込み: 下記 URL の申込フォームからお申込み下さい。

<https://www.rodco.jp/seminar/otherseminar/182064/>